



夢と生きる力を育む教育環境の整備

【提案・要望先】文部科学省

1. 提案・要望内容

(1) 新たな教育内容や方法への対応（新学習指導要領対応）

これからの学校に求められる学習体制の刷新に向けた教育環境の改革

- ・少人数教育充実のための定数改善（小中学校全学年での35人学級編制の実現）
- ・指導方法工夫改善加配の現行配分数の堅持
- ・新たな授業づくりのための小学校専科教員の専任配置の拡充

(2) 子どもと向き合う時間の充実（教育効果を高める働き方改革推進）

① 個に応じた多様な教育課題に対応できる教育環境づくり

子どもの多様な教育課題に専任する教員配置の拡充による指導の充実

- ・いじめ、不登校の解消を目指し、指導体制を充実する専任教員の拡充
- ・教育相談機能充実のための養護教諭の複数配置基準の改善
- ・重度の障害のある児童生徒が小中学校特別支援学級に在籍する場合の加配教員の創設

② 多彩な人材の参画による学校の教育力の向上

教員が教科指導や生徒指導に専念し、子どもの多様な教育課題に対応

- ・教員に代わって事務作業を行うサポートスタッフの配置
- ・若手（採用2年目）教員の指導力向上のための支援人材の配置
- ・生徒指導上の課題に対応するスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの拡充
- ・地域との連携・協働を推進する地域連携担当教職員配置に伴う加配の創設
- ・学校図書館機能充実のための学校司書の定数化
- ・部活動指導員の配置促進

<概算要求等の状況>

【文部科学省】教職員定数の改善、義務標準法改正に伴う増
専門スタッフ・外部人材の拡充

+81億円（+3,800人）

+32億円

2. 提案・要望の理由

(1) 新しい学習指導要領に対応した教育を実施していくには、教員がきめ細かく子どもに関わることができる教育環境を整えることが不可欠。小中学校全学年での35人学級編制が本県で維持、全国において実施されることが早急に必要

また、本県では今年度から各市町に英語の専科教員を配置し英語の教科化に向けた指導体制の充実に取り組んでいる。新たな授業革新に向け国のさらなるリーダーシップによる増員が必要

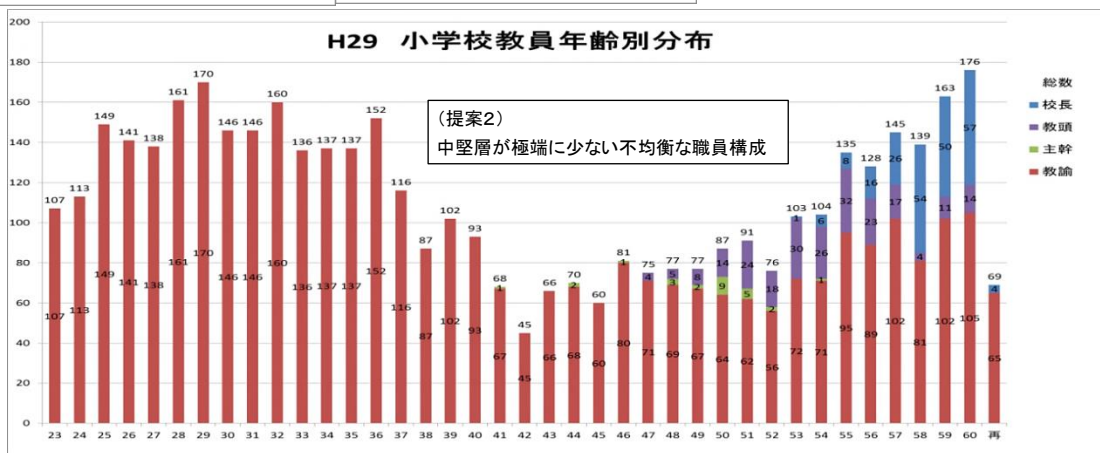
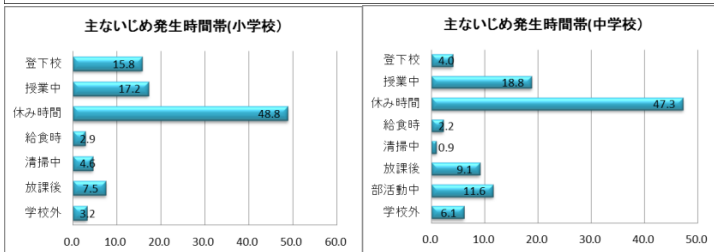
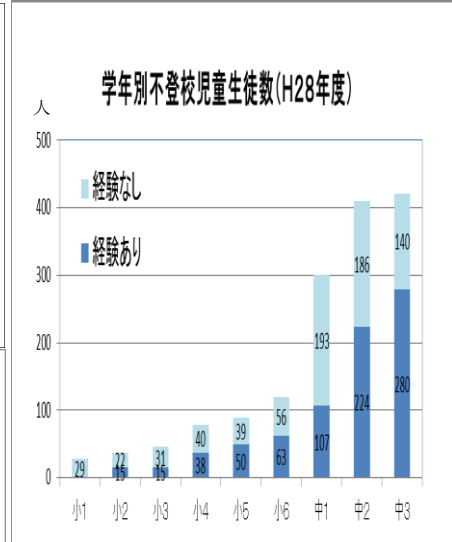
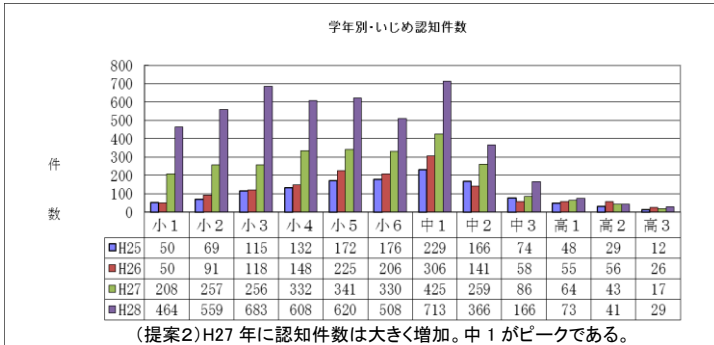
(2) 不登校児童生徒や特別な支援を要する児童生徒への対応等など、多様な教育課題にきめ細かに対応するためには、教員が子ども一人ひとりと向き合う時間を確保し充実させることが必要であり、学校業務のあり方を見直し業務改善を進めるなど、働き方改革の促進が必要

そのために、最大の教育資源である教員が、資質能力の向上を図り、持てる力を最大限に発揮できる学校組織の構築が必要。教員と専門スタッフや地域の人材が連携、分担して一つのチームとして校務を行う体制の整備により、様々な課題に専任できる教育環境を整えることが必要。また、急激な世代交代の時期にあつて、採用後間もない経験の浅い若手教員も実践的指導力が求められることから、その育成が課題

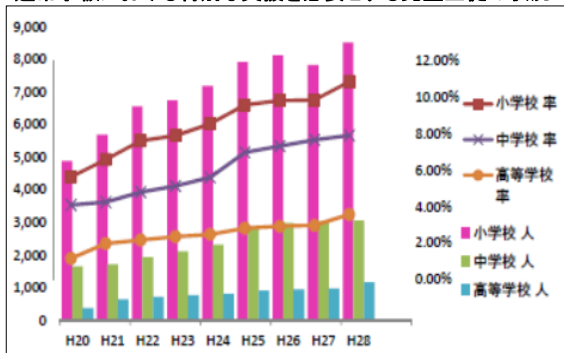
(本県の取組状況と課題)

本県は、いじめ不登校、学力、体力の向上、特別支援教育などの課題を総合的に解決するために、**少人数学級編制を小中学校全学年に拡充し、教育の充実を図**ってきているが、**まだまだ教育課題が多い。**

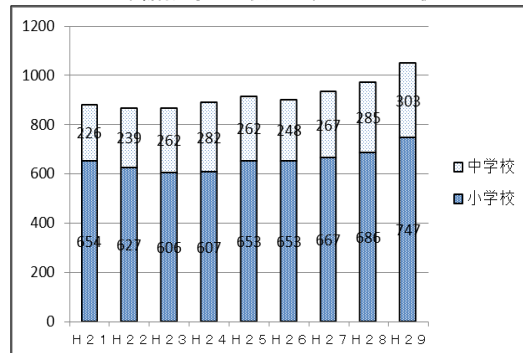
他府県から、多くの子育て世代が転入してきている中、県民に信頼される教育を進めるため、最大の教育資源である教員が、最大限に教育力を発揮できる教員配置を進めることが喫緊の課題である。



通常学級における特別な支援を必要とする児童生徒の状況



日本語指導が必要な外国人児童生徒



SDGsとの関連

○ 未来を拓く心豊かでたくましい人づくりに寄与 (目標4)